

「その存在が消えれば良い映画である」と言われる、映画の編集者とは何者でしょうか？映像素材の中から、ある方針に従い、選び、切り、捨て、どう繋ぐかを考え、作業をする人々。そんな彼等の戦略や具体例を、再検証してみようと思いました。

今回は、日活創立100周年に併せ、日活出身の編集者である辻井正則氏・鈴木暁氏・井上治氏・鍋島惇氏という多くの傑作名作を支えてきた4人の【映画編集者】に注目し、編集作品の中から選りすぐりの20本を上映。(編集)という視点から映画を観るという珍しい特集上映です。

【映画編集者】とは？

或るカットの中の人物が歩いている。5歩で切るか6歩で繋ぐか。実景は3カットか2カットか。メロドラマならゆったりと、アクションは畳掛けのように。編集者が創りだしたリズムが観客をドラマに引き込み、ファーストカットからラストカットまであたかも全篇ワンカットであったと思わせてしまう。それが、私たち映画編集者の仕事です。

小津映画の会話のシーン。あの独特の間は台詞のおわり10コマ、台詞の前6コマで作られています。私たちの先達のしわざです。デジタル映像と編集ソフトの普及により、誰もが手軽に映像の編集が出来る時代。しかし、ただ単に画が繋がっているだけでは「編集」とは言えません。『編集』とはフィルムの演出です。各編集者が独自の理論(編集術≒演出術)を持っており、それは各自の理性・知性・感覚に裏打ちされているのです。

ぜひ、この特集上映をご覧になって下さい。そうしたらもう《監督の言う通りにつないでるだけの人》とは言わせませんよ。

———日本映画・テレビ編集協会 理事長 鍋島 惇

想像・創造

あの神技が見られなくなるのは残念だ。ムビオラでフィルムを捲る手摺き、あの職人の姿、どの人の顔も魔術師的な風貌。コマ、コマ、コマ、二十四分の一秒を切っていく。

神技の世界を記録映像にしておくことが急務だ。何本ものフィルムを首に巻きつけてムビオラを格闘するフルショット。フィルムを挟む指先のアップ。どれもこれも貴重な映像として残る筈だ。フィルムがなくなったからといって、誰にでも編集出来るようになるとするのは大いなる誤解だ。集められた材料をつなぐだけなら、いや、それも意外と難しいことも知れない。そこには高度なテクニックが要求される。編集という才能が訓練され、みがかれて出来ることだ。

予感として、横につながっていた時間というものが縦になるのではないか。予知能力、近未来、エスパー、過去の断辺等…。想像・創造・発見、新しいモニター・ジュの世界、限りない夢が広がる。

———映画監督 曾根中生

日活京都撮影所に入り、1939年「愛の一家」で技師デビュー。その後、大映東京撮影所に移り、「我が家の風」(監督:田中重雄)、「静かなる決闘」(監督:黒澤明)、「虹男」(監督:牛原虚彦)などを担当しながら編集係長を務め、1954年「金色夜叉」(監督:島耕二)で東宝アジア映画祭ゴールデンハーベスト賞を受賞。1955年日活撮影所に移り、「青春怪談」「こころ」(監督:市川崑)「自分の穴の中で」(監督:内田吐夢)などを担当、1956年「ピルマの堅琴」(監督:市川崑)でサン・ジョルジュ賞を受賞。主な編集担当作品に「將軍と参謀と兵」(監督:田口哲)、「雁」(監督:豊田四郎)、「錆びたナイフ」「上を向いて歩こう」(監督:舛田利雄)、「狂った果実」「月曜日のユカ」(監督:中平康)などがあり、日活の編集スタイルの基礎を築いたことで知られる。また1971年からの日活ロマンポルでも多くの作品を手がけた。

辻井正則

(1916~1975)



1952年、大映京都撮影所に入り溝口健二、衣笠貞之助、伊藤大輔などの監督作品に編集助手としてつく。1955年日活入社、主に辻井正則氏につく。1964年、中平康監督「砂の上の植物群」で技師デビュー。「若草物語」(監督:森永健次郎)、「無頼より 大幹部」(監督:舛田利雄)、「昇り竜鉄火肌」(監督:石井輝男)、「叛逆のメロデー」(監督:澤田幸弘)などを担当。また、ロマンポルノでも西村昭五郎、藤田敏八、加藤彰、小沼勝など多くの監督作品を担当し、1981年フリーとなる。他の編集作品に「妹」(監督:藤田敏八)、「糊んだカッパル」(監督:相米慎二)、「暗室」(監督:浦山桐郎)、「海と毒薬」「千利休、本覺坊道文」「深い河」(監督:熊井啓)など。日本アカデミー賞・特別賞('87)。同・優秀編集賞('89)。日本映画・テレビ編集協会賞('95)。文化庁映画賞・映画功労賞('10)など。前日本映画・テレビ編集協会理事長。

井上治

(1932~2011)



鈴木暁

(1928~)

1948年、マキノ映画に助監督として入り、安達伸生監督につく。1952年、宝塚映画に助監督として入社、翌年、師と仰いだ安達監督の不慮の死もあり、1954年日活に移り編集に転じる。翌年早くも編集技師として堀池清監督「お月さまには悪いけど」を担当、以来400本以上の作品を担当。コンビの監督は、井上梅次、西河克己、鈴木清順、蔵原惟繕、澤田幸弘、長谷部安春など、1971年、日活がロマンポルノに転じて、神代辰巳、田中登、根岸吉太郎などの監督作品を担当し、1978年~1989年、日活撮影所取締役を務める一方、伊丹十三監督の全作品を担当し、柳川武夫監督「棟方志功の世界」などのドキュメンタリーも手がける。日本映画ペンクラブ賞・特別賞('78)。日本アカデミー賞・特別賞('86)。同・最優秀編集賞(88、89、92、93)。文化庁映画賞・映画功労賞('04)。などの受賞がある。

鍋島 惇

(1936~)

1958年 日活撮影所 入社。
1971年 日活ロマンポルノ第1回作品「団地妻 昼下りの情事」(監督:西村昭五郎)を担当。他編集担当作品に「華麗なる一族」「金環蝕」「不毛地帯」「あゝ野麦峠」「アッシイたちの街」(監督:山本薩夫)「不連続殺人事件」(監督:曾根中生)「人間の証明」「野生の証明」(監督:佐藤純弥)「瞳の中の訪問者」「ふり向けば愛」(監督:大林宣彦)「次郎物語」「きみが輝くとき」(監督:森川時久)「ゆきゆきて、神軍」「全身小説家」(監督:原一男)「マタギ」「イタズ熊」「オーロラの下で」(監督:後藤俊夫)「ブッちゃんに挑む岡村喬生のオペラ人生」(監督:飯塚俊男)第1回日本映画テレビ編集協会賞・日本アカデミー賞優秀編集賞・文化庁映画賞・映画功労賞などの受賞歴がある。現在、日本映画・テレビ編集協会理事長。

2013

2月9日 土 — 2月22日 金 2週間限定開催!

	14:20	17:10	20:00
2月 9日 土	ゆきゆきて、神軍 ★	関東無宿	団地妻 昼下りの情事
2月10日 日	囃む女	金環蝕	実録白川和子 裸の履歴書
2月11日 月・祝	赤い蕾と白い花	マタギ ★	関東無宿
2月12日 火	囃む女	赤い蕾と白い花	ピンクのカーテン2
2月13日 水	若い人	ピンクのカーテン2	赤いハンカチ ☆
2月14日 木	赤いハンカチ	桃尻娘 ピンク・ヒップ・ガール	金環蝕
2月15日 金	桃尻娘 ピンク・ヒップ・ガール	若い人	リボルバー
2月16日 土	マタギ	団地妻 昼下りの情事	実録白川和子 裸の履歴書 ★
2月17日 日	「無頼」より 大幹部	ゆきゆきて、神軍 ★	渡り鳥故郷に帰る
2月18日 月	リボルバー	「無頼」より 大幹部	大幹部 無頼
2月19日 火	渡り鳥故郷に帰る	大幹部 無頼	拳銃無頼帖 電光石火の男
2月20日 水	執炎	日本の黒い夏 -冤罪-	叛逆のメロディー ☆
2月21日 木	拳銃無頼帖 電光石火の男	叛逆のメロディー	執炎
2月22日 金	日本の黒い夏 -冤罪-	マタギ	ゆきゆきて、神軍 ★

★…トークイベント ☆…公開質問イベント

ゲストを迎えてのトークイベント開催!!

2月 9日(土) 14:20の回上映後

小林佐智子 (『ゆきゆきて、神軍』プロデューサー)
× 鍋島 惇 (日本映画・テレビ編集協会理事長)

2月11日(月・祝) 17:10の回上映後

後藤俊夫 (『マタギ』監督・原作者) × 鍋島 惇

2月16日(土) 20:00の回上映後

曾根中生 (『実録白川和子 裸の履歴書』監督) × 鍋島 惇

2月17日(日) 17:10の回上映後

原 一男 (『ゆきゆきて、神軍』監督・撮影) × 鍋島 惇

2月22日(金) 20:00の回上映後

小林佐智子 × 原 一男 × 鍋島 惇

※その他にも、現役編集者や監督によるトークイベントも開催予定!!

三回券 3,000円

一般 ————— 1,200円
大学・専門 ————— 1,100円
中学・高校・シニア — 1,000円
小学生 ————— 700円



ポレポレ東中野

TEL 03 3371 0088
www.mmjp.or.jp/pole2/
JR東中野駅西口改札北側出口より徒歩1分
地下鉄大江戸線東中野駅A1出口より徒歩1分



編集についての質問大募集!

個人でも学校でも、映画(映像作品)を作る機会が増えました。でも一旦撮ったものの、編集をする時に、さてどうやってと悩んだり、実際繋いだものを見て、こんな苦じゃない、面白くないなあ、と困ったりする事があると思います。でも、学校以外の場所でも、実際相談できる人ってどこにいるのでしょうか？今回、この特集上映中、現役の編集者達に相談に乗って貰ったり、アドバイスを貰ったりする機会を設けます。どう繋げばいいのか、どう短くすればいいのか、どう組み立てていくのか等々。「映画」を編集してきた方々に色々質問してみてください。

■実施日:

2月13日(水) 20:00の回上映後

2月20日(水) 20:00の回上映後

■参加資格: その回の上映をご覧になった方

■回答者: 日本映画・テレビ編集協会会員

質問がある方は、下記メールアドレスに質問の内容を書いて送ってください。質問は具体的にあればあるほど歓迎です。具体的な映像があれば送ってください。ひょっとしたら実際に上映するかもしれません。※機材についてのご質問はご遠慮ください。

お問合せ: ポレポレ東中野 担当: 香田

koda@co.email.ne.jp



赤いハンカチ



企画:児井英生 監督:舛田利雄 脚本:小川英 山崎巖 舛田利雄 撮影:間宮義雄 編集:辻井正則 出演:石原裕次郎 浅丘ルリ子 二谷英明 川地民夫 桂小治 麻薬組織の容疑者を誤殺した刑事が放浪の果てに事件の真相を追ひ詰めていく。そして悪いも奇らぬ真犯人が…。裕次郎映画の傑作。

洗練されたカットिंगで無駄なカットは無い。特に主人公の感情表現を的確なフラッシュインサートする鍛造プレス機の編集は圧巻。

実録白川和子 裸の履歴書



企画:武田靖 監督:曾根中生 脚本:田中陽造 撮影:森野 編集:辻井正則 出演:白川和子 殿山泰司 田中真理 小川節子 片桐夕子 「ボルノの女王」白川和子の引退映画。白川和子の華々しい生き様をセミドキュメントタッチで鮮烈に描く。

ドキュメントタッチを意識して撮影された斬新な演出やカメラワークを巧みに生かしながら臨場感を失わない様に繋いだ。

日本の黒い夏 - 冤罪 -



製作総指揮:中村雅哉 監督:熊井啓 脚本:熊井啓 原作:平石耕一「NEWS NEWS」 編集:井上治 出演:中井貴一 細川直美 遠野順子 北村和夫 寺尾聰

1994年に長野県松本市で起きた松本サリン事件を題材に報道のあり方を鋭く問う熊井啓監督の社会派サスペンス。

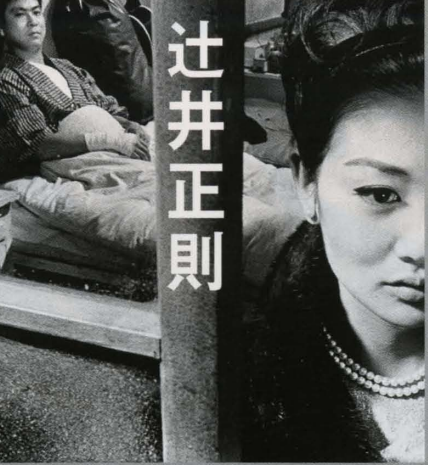
複雑な時間軸の展開を編集でわかりやすく見せている。又、井上治自身がカ涼みをする市民の役で出演しているのも見逃せない。

反逆のメロディー



企画:水の江滝子 佐々木志郎 監督:沢田幸弘 脚本:佐治佐 藤武路夫 撮影:山崎善弘 編集:井上治 出演:原田芳雄 佐藤謙次郎 梶芽衣子 藤竜也 地井武男 原田芳雄の目録デビュー作。Gパンに長髪、サングラスという今までにないヤクザ像を演じて日活ニューアクションの先駆けとなった。

全篇手持ちカメラを多用した映像をシャープなカットिंगで見せている。それまでの日活映画のスタイルを大きく変えた作品。



大幹部 無頼



企画:岩井金男 監督:小沢啓一 脚本:池上金男 久保田主司 原作:藤田五郎 撮影:高村倉太郎 編集:辻井正則 出演:渡哲也 松原智恵子 内田良平 岡崎二郎 田中邦衛 汽車の中、藤川五郎は厳冬の地、弘前に向かうが…。ヤクザが生きる為の凄さ、非情の掟と宿命。ドスを使ったアクションの傑作。

タイトルバックで前作をモニタージュ。ラストの「どぶ川」と女子校のバレーボールとのクロスカットは映画史に残る編集。



リボルバー



プロデューサー:山田耕大 小林泰夫 監督:藤田敏八 脚本:荒井晴彦 原作:佐藤正午 撮影:藤沢順一 編集:井上治 出演:沢田研二 村上雅也 佐倉しおり 榎本明 尾美としのり 佐藤正午の同名小説を藤田敏八監督が沢田研二主演で映画化。盗まれた一挺の拳銃を巡って様々な人間模様を展開する群像ドラマ。

多種多様な人物や出来事が同時進行してゆく複雑なドラマを独特な編集の持ち味でスリリングに見せて行く。編集の魔術とはこれだ!

拳銃無頼帖 電光石火の男



企画:浅田健三 監督:野口博志 脚本:松浦健郎 原作:城戸礼 撮影:永塚一栄 編集:辻井正則 出演:赤木圭一郎 二谷英明 浅丘ルリ子 白木マリ 穴戸錠 拳銃無頼帖シリーズ第2作目、身代わりで刑務所に入った丈二が出所すると…。吉永小百合がウェイトレス役で映画デビュー。

日活アクション映画が最も輝いていた1960年代。赤木圭一郎のカッコ良さを見事に繋いだ御伽草子のような娯楽作品。

渡り鳥故郷へ帰る



企画:児井英生 監督:牛原昭一 脚本:下飯坂菊馬 撮影:伊佐山三郎 撮影:崎重義 編集:鈴木暁 出演:小林旭 和田浩治 佐藤礼子 白木マリ 中原早苗 故郷高松に舞い戻った浩治は二大ヤクザ組織の抗争に巻き込まれる。その後のヤクザ映画の製作に大きな影響を与えた作品。

シリーズの世界観、堪える主人公の「スタティック」のリズム」ラストの「アクション（動）」のリズム」へ変わる様が見所。

「無頼」より 大幹部



企画:岩井金男 監督:舛田利雄 脚本:池上金男 久保田主司 原作:藤田五郎 撮影:高村倉太郎 編集:井上治 出演:渡哲也 松原智恵子 川地民夫 村田京介 藤竜也

“人斬り五郎”と異名を持つ実在の暴力団幹部・藤田五郎の自伝小説を舛田利雄監督、渡哲也主演で映画化した人気シリーズ第一作。

ラストのキャバレーでの立回りでステージで歌う青江三奈の姿と楽屋裏での壮絶な殺し合いをカットバックで見せる編集は圧巻だ。

ピンクのカーテン2



プロデューサー:三浦明 監督:上垣保朗 脚本:高田純 原作:ジョージ秋山 音楽:原マズミ 撮影:野田俊男 編集:井上治 出演:美保純 阿部雅彦 萩尾なおみ 望月小太郎 酒井昭 同じ部屋で同居する姉妹の危い関係を描くジョージ秋山の脚本を上垣保朗監督が美保純主演で映画化したヒット作の第二弾。

一度は結婚を決心した妹の野理子が駅のホームで佇む姿に遠くの高層ビルを何度もカットバックするラストは彼女の兄への想いが見事に表現されていた。

若い人



企画:坂上静弥 監督:西河克己 脚本:三木克己 原作:石坂洋次郎 撮影:若原憲治 編集:鈴木暁 出演:吉永小百合 浜田光夫 金子信雄 高峰三枝子 北林谷栄 私生児として生まれ女学校に通う恵子。そんな彼女の特殊な生活環境の中、新人教師・岡崎との交流を中心に多感な思春期の心理を描く。

西河演出のバッションの中、石原・浅丘・吉永の3大スターを迎え、演出とマッチングした心地良いアクションとダイアログ繋ぎが見もの。

関東無宿



企画:浅田健三 監督:鈴木清順 脚本:八木保太郎 原作:平林たい子「地底の歌」 撮影:崎重義 編集:鈴木暁 出演:小林旭 松原智恵子 平田大三郎 伊藤礼子 中原早苗 伊豆娘の鶴田は三年前に知り合った賭博師の辰子と再会した。鶴田の胸に顔を埋める辰子、その時から鶴田は辰子の男「おかる八」との対決を決意していた。

鈴木清順のポップな演出。リズムカルなカットイングは主人公への感情移入を断絶させ、客観的な視点を観客に与えてくれる。

団地妻 昼下りの情事



企画:武田靖 監督:西村昭五郎 脚本:西田一夫 撮影:安藤庄平 編集:鍋島淳 出演:白川和子 浜口竜雄 南条マキ 関戸純夫 美田陽子

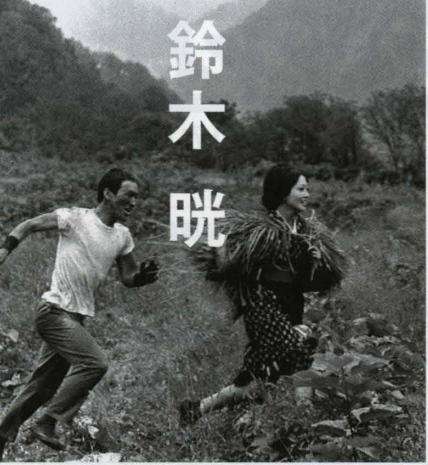
一般作品の場合、男女がベッドインするとカメラはスタンダードが花にバンで逃げる。ホルノは逆バンで男女のからみを見せ観客を興奮させる。70分で6回その場面を作る。これがロマン・ホルノなのだ。撮影素材を繋いだ状態で、映倫のチェックが入り、カラミに注文がでる「モザイク」をかける羽目になり、映倫との対立は数時間に及ぶこともあった。

桃尻娘 ピンク・ヒップ・ガール



プロデューサー:岡田裕 監督:小原宏裕 脚本:金子成人 原作:橋本治 撮影:森野 編集:鍋島淳 出演:竹田かほり 亜湖 高橋洋子 片桐夕子 内田裕也 岸部シロー 高校生のレナと裕子は愛とSEXについて意見が合わない。突然、裕子が手紙を残して家出する。レナが裕子を追ってすれ違いの旅が始まる。

脚本・金子成人の軽妙なセリフのやり取り、同時進行する手紙と回想を織り交ぜ、シーンバック・カットバックで編集構成し、流れを作った。



執炎



企画:大塚和 監督:森原雅雄 脚本:山田信夫 原作:加茂昌子 撮影:間宮義雄 編集:鈴木暁 出演:浅丘ルリ子 伊丹十三 月川いづみ 松尾嘉代 宇野重吉 きよと拓治は古い因習を破って結ばれた。戦争の恐怖の中、狂ったように愛を確かめ合う。拓治に赤紙が、愛蔵の能面をつけて舞うきよの姿は執念の叫びだった。

全篇モノクロ画面でオーバーラップを多用する事で登場人物の感情を昂揚させる。ポイントとなるSLが通過する鉄橋のシーンに注目。



ゆきゆきて、神軍



製作:小林佐智子 企画:今村昌平 監督:堀原一男 助監督:安岡卓治 編集:鍋島淳 出演:奥崎謙三 妻:スズミ 山田吉太郎 終戦後23日目。兵士が隊長命令で銃殺処刑される。「私の暴力は許される」元隊長宅を訪ねピストルを発射。「息子でも良かった」。

私にとってドキュメントは初めての挑戦だ。ドラマとならん変わらぬ編集構成を試みた。私にとって奥崎謙三との戦いが始まった。

赤い蕾と白い花



企画:坂上静弥 監督:西河克己 脚本:池田一朗 原作:石坂洋次郎「寒い朝」 撮影:若佐一泉 編集:鈴木暁 出演:吉永小百合 浜田光夫 金子信雄 高峰三枝子 北林谷栄 重夫は母を亡くし、とみ子も父を亡くしていた。この二人の高校生が互いの父と母を結び付けよう…。吉永小百合が「コードデビュー」となった「寒い朝」が主題歌。

屈託の無い高校生の多感さや心身のアンバランス、大人との距離感を丁寧なショットで描き、またコミカルでユニークなモンタージュも楽しめる。

囁む女



プロデューサー:山田耕大 監督:神代辰巳 脚本:荒井晴彦 原作:結城昌治 撮影:藤田昇 編集:鈴木暁 出演:桃井かおり 永島敏行 平田満 余貴美子 竹中直人 古賀は同級生の早苗とホテルへ、行為に興奮した早苗は古賀の肩に噛みついた。「あなたの家庭を壊したい」と言う早苗に、古賀は「いいよ」と軽く答えた。

ロマン・ボルノでも数々の名作を輩出した神代監督と鈴木暁のコンビによる編集は、随所に活きのあったテランの遊び心を感じさせられる。

金環蝕



企画:武田敦 監督:山本薩夫 助監督:後藤俊夫 脚本:田坂啓 原作:石川達三 撮影:小林節雄 編集:鍋島淳 出演:神代達夫 三國連太郎 宇野重吉 京マチ子 高橋史史 魑魅魍魎の政治の世界。金と権力のドロドロした政治家の暗躍。民政党総裁に絡むダム建設の汚職がやがて殺人事件に発展する。

ドラマが展開する上で登場人物を強調させ、印象づける為にストップモーションを多用した。深刻な内容に対して笑いといんパクトを表現した。

マタギ



製作:小島義史 監督:原作:後藤俊夫 脚本:大相屋 後藤俊夫 撮影:山崎秀也 編集:鍋島淳 出演:西村見 山田吉一 橋本義男 伴淳三郎 安保吉人

山本薩夫監督と、その愛弟子の後藤俊夫監督とは、数々の作品作りを共にしてきた。両監督の作品に編集者として参加できたことは、映画人としての私の誇りである。動物映画の第一人者としての後藤監督作品「マタギ」は、その中でも秀逸な作品だ。

